

Course number		U-LAS29 20031 SJ48			
Course title (and course title in English)		日本語アカデミック・ライティングII Japanese Academic Writing II		Instructor's name, job title, and department of affiliation Part-time Lecturer,HANDA KANAKO	
Group		Languages		Field(Classification)	
Language of instruction		Japanese		Old group	
Number of weekly time blocks		1		Number of credits 2	
Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・First semester	
Days and periods		Tue.3		Target year 1st year students	
				Eligible students International students	
[Overview and purpose of the course]					
論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文を書く前のアイディアの膨らませ方、パラグラフの作り方、序論・本論・結論の書き方、文や段落の接続技法、効果的な意見の述べ方などに関する講義と、日本語執筆の実践練習を通して、論理的な日本語を書く力を身につけてもらう。					
[Course objectives]					
学術的レポートや論文の構成およびそこでよく使われる表現を理解し、実際に小論文を書けるようになること。					
[Course schedule and contents]					
論文でよく使われる表現を確認し、実際に使えるように練習する。序論、本論、結論の書き方を順に追いながら文章を構成していき、最終的に小論文を完成させる。					
第1回 オリエンテーション					
第2回 論文作成の基礎・論文の構成 論文作成にあたっての基本的知識、論文の構成					
第3回 論文作成の基礎・論文の構成 論文作成にあたっての基本的知識、論文の構成					
第4回 序論 序論の役割と構成、背景説明					
第5回 序論 問題提起、方向付け					
第6回 本論 本論の役割と構成、論拠提示					
第7回 本論 意見提示					
第8回 本論 結論提示					
第9回 結び 結びの役割と構成					
第10回 結び 全体のまとめ、評価、展望提示					
第11回 論文展開の技術と日本語表現					
Continue to 日本語アカデミック・ライティングII(2)					

日本語アカデミック・ライティングII(2)

第12回 要旨、参考文献の書き方

第13回 小論文の作成と推敲

小論文を作成し、その小論文をグループで推敲する

第14回 小論文の作成と推敲

小論文を仕上げる

《期末レポート》

第15回 フィードバック

[Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

授業への参加度（30%）、提出物（70%）によって評価する。

[Textbooks]

浜田麻里ほか『論文ワークブック』（くろしお出版, 1997）

[References, etc.]

（References, etc.）

小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』（くろしお出版, 2016）

[Study outside of class (preparation and review)]

小論文の提出を最終課題とするが、序論、本論、結論に関する各回の授業後にもそれぞれの文章を提出してもらうので、それらの課題にも計画的に取り組むこと。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]